

平成 29 年 7 月 13 日 (木)

1 年生 学究科 野外実習 — 親海湿原探索 —



13日(木)大町山岳博物館学芸員の千葉悟志先生を講師にお招きし、1年学究科生徒が姫川源流自然探勝園と親海湿原の探索を行いました。姫川源流自然探勝園一帯は、貴重な自然環境を形成しているとして長野県の自然保護条例に基づき、自然環境保全地域に指定されております。親海湿原は標高750mにもかかわらず、亜高山帯から高山帯にかけて生息する低層・高層の湿原植物が大変豊富な場所として有名です。この日はドクゼリ・クサレダマ・コバギボウシなどの花を観察することができました。この野外実習は専門科目「理数生物」の一環として、大北地区にある貴重な自然財産についての理解を深めるとともに、湿原の形成についての二次遷移とは何かについて学ぶ機会となっており、大変積極的な質問が出るなど大変有意義な実習となりました。この実習を通し学んだ親海湿原に特徴的な植物と観察記録についてのレポート(字数無制限)に表紙をつけて25日(火)に提出することになっております。

